

「未来情報通信技術特論」の神戸の未来 ICT 研究所見学が行われました

2025 年 8 月 1 日（金）、基礎工学研究科で開講されている「未来情報通信技術特論」の一環で、神戸市にある国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）未来 ICT 研究所神戸フロンティア研究センターの見学が行われました。受講者 30 名弱のうち、ほとんどが基礎工学研究科の M1 で、今年度はカデット履修生も 3 名受講しました。

午前中は、超伝導 ICT、ナノ機能集積 ICT、バイオ ICT、量子 ICT の 4 つの研究室を全員で見学し、午後は希望する研究室に分かれて 3 時間の実習を行いました。最後の総合討論では、講義内容に関する疑問に加え、研究の進め方や研究者としての働き方に関する質問も見られました。たとえば、国家プロジェクトにおいて計画通りに成果を上げるための工夫や、うまく進まないときの対応の仕方など、現場の研究者から具体的な経験談が語られ、学生たちは熱心に耳を傾けていました。研究所では装置の利用環境が整っており、大学とは異なり研究者の数より装置の方が多いことに驚いた学生もいたようです。

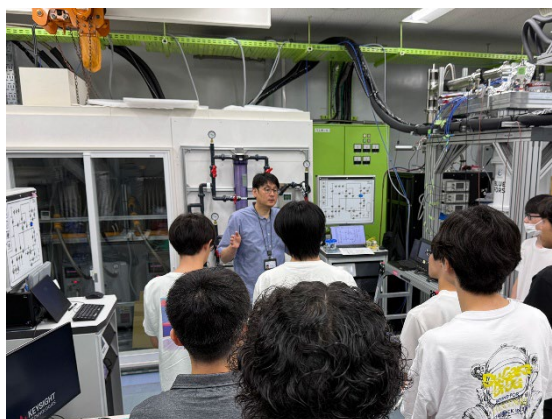
見学や実習、討論を通して対応してくださった研究者の中には、大阪大学基礎工学研究科の出身者もおられ、国の研究機関で働くという進路が、受講者にとってより現実味をもって感じられる機会となりました。



未来 ICT 研究所神戸フロンティア研究センター（建物外観）



田中センター長によるセンター全体の概要説明



超伝導 ICT 研究室にて、希釈冷凍機の前での説明



有機電気工学ポリマーを用いたデバイスについて説明する
梶博士（本学基礎工学研究科出身）



バイオ ICT 研究室にて、健康な細胞（左）とガン細胞
（右）の観察



量子 ICT 研究室にて、RA として勤務中の本学基礎工学研究科
D2・西本さんと、リアルタイムでトラップされているイオン



総合討論の様子